
環境トピックス 2024年04月号

このトピックスは環境分野における新しい行政の動きや環境ビジネス情報、コンプライアンス事例をご提供いたします。今後の環境ビジネストレンドに影響を与える情報をセレクトしています。

= 今月の目次 =

1. 政府・行政・法令分野	3
(1) 22年度の国内GHG排出・吸収量 過去最低の10億8,500万トンに…環境省	3
(2) 生物多様性 地域増進活動促進法案が衆院通過 付帯決議 企業の情報開示支援等…国会	3
(3) 企業情報開示のあり方で懇談会 サステナ情報含め企業価値向上へ…経産省	3
(4) 対象企業大幅減の人権・環境デューデリジェンス法案を採択…欧州議会	4
(5) 30年までにSAF10%義務化 航空業の脱炭素化、国内生産促進…英国	4
(6) 「ESG デューデリジェンス」に不可欠な7ステップ…オルタナ	5
(7) グリーンウォッシュ調査、エールフランスやKLMが対象…EU	6
(8) プラ国際条約会合ヤマ場、日本政府はプラ一律削減に賛成せず…INC4	6
(9) サステナビリティ情報開示のグローバル動向 2024年4月号…EY	7
(10) 自律的に「デジタル人材」へ 先進企業集め報告書…IPA	7
(11) DX支援の在り方提示 ガイダンスを策定・公表…経産省	8
(12) ブルーカーボン、22年度35万トンと国連に報告 海藻で世界初…国交省	8
(13) 農業系カーボンの国内外の情報を整理…農林水産省	9
(14) SX銘柄2024として15社を選定…経産省とJPX	9
(15) 世界で1日10億食超無駄に 日本は4,800万食…国連	10

次ページ以降はアドバイザー契約会員専用です。

[こちらをクリックして詳細をチェック](#)